

3 年 () 組 () 番 氏名 ()

その4 コロナ感染拡大のようすを知る

3 節 新興国での感染拡大の要因と影響について考えよう

イ 新聞記事からブラジル感染拡大の理由を考える

ブラジル地理統計院 (IBGE) の全国家庭サンプル調査 (Pnad) の 2016 年の統計分析調査によると、2016 年度のブラジルの労働人口 8,890 万人のうち半数は、昨年の最低賃金 880 レアルに達しない平均 747 レアルであった。しかし労働人口の所得ピラミッドの頂上を形成する 1.0%の最富裕層の平均所得は、ピラミッドの底辺を形成する最貧層の 36.3 倍に相当する 2 万 7,085 レアルとブラジルの所得格差のポートレートを表している。2016 年度のブラジルの労働人口 8,890 万人の 5.0%に相当する 444 万 5,000 人の最貧困層家庭の一人当たりの月収は 73 レアルに過ぎず、世界でも最も所得格差が最悪であるとブラジル地理統計院労働・所得部門担当のシマール・アゼレード コーディネーターは指摘している。

ブラジルの労働者の所得ピラミッドの最下位 5.0%は 73 レアル、その次の 5.0%は 293 レアル、下位 3 位の 10%は 596 レアル、所得ピラミッドの下位 30%は 870 レアル以下となっている。一方、ブラジルの労働者の所得ピラミッドの最上位 1.0%の平均月収は 2 万 7,085 レアル、その次の 4.0%は 9,759 レアル、前記同様に上位 3 位の 5.0%は 5,179 レアル、4 位の 10%は 3,256 レアル、5 位の 10%は 2,203 レアルとなっている。(ブラジル日本商工会議所の 2017.11.30 の記事による)

<http://jp.camaradojapao.org.br/news/noticias/noticias-politica/?materia=17814>



表 1

平均月収下位・上位からの労働人口に占める割合	下位からの累積 (%)	平均月収 (レアル)
下位0%	0	0
下位5% (最下位の5.0%)	5	73
下位5～10% (その次の5.0%)	10	293
下位10～20% (下位3位の10%)	20	596
上位10～20% (4位の10%)	90	3,256
上位5～10% (上位3位の5.0%)	95	5,179
上位1～5% (その次の4.0%)	99	9,759
上位1% (最上位の1.0%)	100	27,085

- (注) ・ 統計年次は 2006 年。
・ 「下位 5%」とは、ブラジルの労働人口を 100 人としたとき、月収の下位 5 人の平均月収は 73 レアルであることを示している。
・ 1 レアル≒20 円≒0.2 ドル (2020.6.28)。

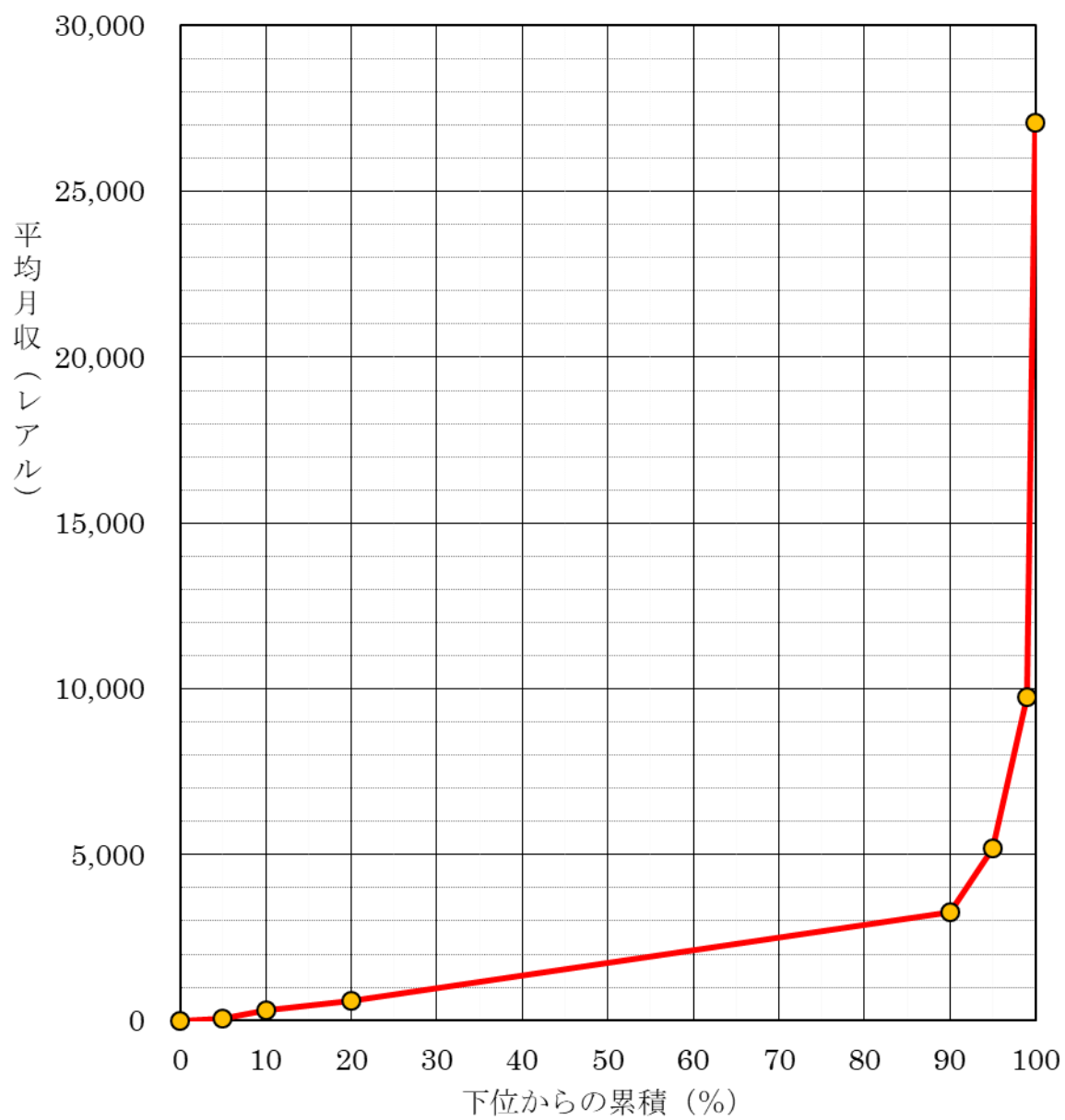


図 1